

2008年2月24日

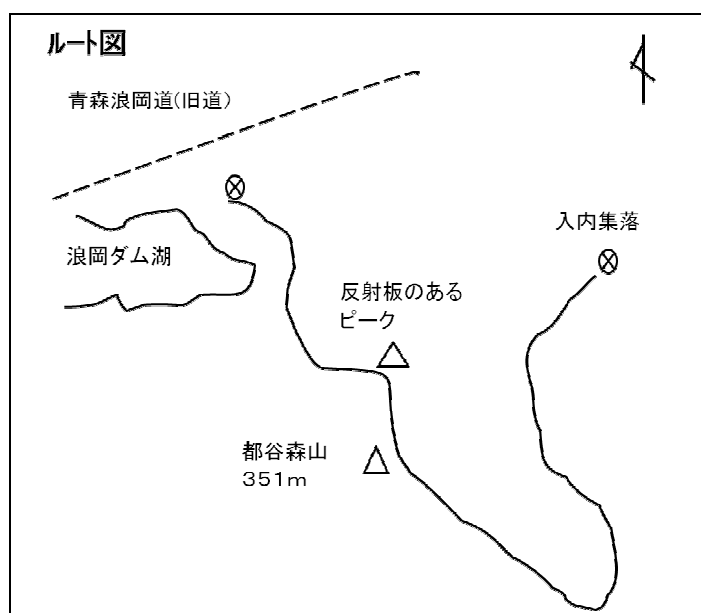
- [ルート] 入内→都谷森山→国鉄反射板のあるピーク→浪岡ダム
 [参加者名] CL H.NAKAMURA 他 16名
 [コースタイム] 横内P集合 7:00→入内発 8:47→302mピーク 9:24→375mピーク手前 10:21
 →小鉄塔 11:32→都谷森山頂 11:37→12:05 反射板のあるピーク(昼食)12:25
 →浪岡ダム傍の道路 13:21

[山行記録]

昨夜は低気圧が通過し暴風雪警報も出た大荒れの予報であった。入内集落まで車を進めるが昨日の降雪で車の腹がつかえそうである。車を浪岡ダム近くに回すと入内集落の出発は8時47分になる。簡易水道の配水所らしき建物の脇を通り尾根に取り付く。尾根通しに延々と進み、当初予定の尾根を通り過ぎて回り込んだようだ。雪は新雪が20～30cmほど積り、下の固雪にワカンが少し沈むくらいである。天気は心配したほど荒れず、曇りに時々雪が混じる程度である。やがて、11時32分



に小さな鉄塔のあるピークに着く。都谷森山頂はここから5分のところらしいが、何の目印もなく、それらしいところに皆で集まり記念写真を撮る。昼食はさらに進んで反射板のあるピークでとる。この反射板は付いているプレートによれば旧国鉄が昭和35年に設置したものである。ここから西の方角に下ると次第に視界が開け体協ゴルフ場の建物も見えてくる。尾根筋から下ると林道らしき開けたところに出て、道なりに進み、車を回しておいた波岡ダム脇の旧道のチェーン脱着所には13時21分に着く。



報告 Y.HANADA

2009年11月30日

[ルート] 管理棟→東屋→キャンプ場

[参加者名] Y.NARA

[コースタイム] 駐車場 管理棟 12:15 → 東屋 12:30 → 送電塔 12:50 →
キャンプ場 13:20 → 駐車場 13:33

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

青森市東南に位置する月見野霊園を目指す。霊園につき当たったらY字路を右へ行くと左手に広い駐車場があり、月見野森林公園の案内板が立っている。登山口は管理棟横、霊園奥、小金沢林道、キャンプ場など数か所。

[山行記録]

管理棟横から林間歩道一号線に入る。開けた道を緩く登って行く。左側に電柱が並び、ちと興ざめ。給水施設配水池の所で左より霊園からの道が登ってくる。電柱はそちらへ続いている。ここで道は右へ曲がる。葉を落とした明るい樹林に赤松が点在。左手木々の向こうに見えるのは沢山集落だ。目前に黒丸太階段が延々と続く。数えたら140段、ちょっと間をおいて71段。上りければそこは東屋。正面に岩木山、梵珠方面、津軽半島の山々が望まれ、手前には青森市市街地、陸奥湾が広がる。ここから沢山方面へ下る林間歩道六号線



は出だしこそ踏み跡があるがじき藪となるようだ。眺望を楽しんだら尾根上の道を進む。すぐに右から林道を少し行った所を起点とする林間歩道四号線が合流。階段が少ないし雰囲気はこっちの方がいいかも。所々にイス、テーブルが置かれている。左斜面は暗い杉林、右は明るい雑木林。カシワの落ち葉の道を一下一上して左に少し入ると送電塔が建っている。高度248mぐらい？基部は開けており、八甲田山が正面に見え、梨の木清掃工場の煙がたなびいている。送電線の下は巡視路は沢山の久神社須志神社近くに出る。戻って下り続ける。踏み固められた粘土質の道は滑りやすく要注意。13:01



小金沢林道横断。林間歩道三号線に入る。林道を右へ行くとさっきの駐車場へ。白樺の並木が続いている。背後には昭和52年辺りから行われた結婚・誕生記念植樹が広がる。13:20 キャンプ場に出る。ログハウス仕立ての休憩所は冬季閉鎖中。炊事場、トイレは二棟もある。その先の広場にはキャンプファイヤースタジアム。大きな桜の木が根元一緒、5,6本の株立ち。広場を横切って林間歩道五号線に入る。やがて道が直角に曲がればゴールは近い。キャンプ場へ通じる舗装路に出れば駐車場はすぐそこ。

報告 Y.NARA